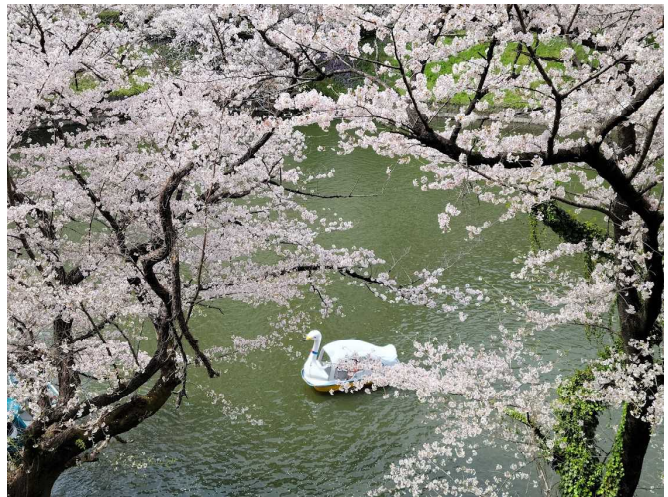


ジョークサロン4月度例会

つぶやき都々逸

佐藤俊一さん kitami-yosuke@1041sato が #ほぼ日刊都々逸 のタグのもとにツイートしたものです。阿部が4月のツイートから拾いました。

- 1 咲いて散るのが 桜の花よ
咲かぬあたしは みれん花
- 2 お題「入」
わけありの 質屋の娘に
カタ入れしたら
あたし待ってる 流さずに
- 3 咲いて散りたや わたしも花と
散るは気ばかり 咲かぬ恋



- 4 お題「入」
惚れコンだ おしろい狐に 入れ揚げ油 しぼられる身の 若旦那
- 5 口さがない 世間の目から ふたりを隠す 傘にやさしい 春の雨
- 6 酔っ払い BARの『出口』の ネオンサインに 「出る」とはなんだと
からみ酒 *これホントの話…(;^_^A
- 7 お題「喜」
待ちに待ったは ぬか喜びか 待ち人こぬか 雨のなか
恋におぼれて 喜びときめく 今はよろめく おいぼれて
- 8 今年の桜 いろはにほへど もはやちりぬる おわかれね
- 9 透ける心も 隠さぬ白魚 春はおまえと 桜草
- 10 飛ぶ鳥を 落とすことなど できないけれど 小ぶとりの肉 落とせるぞ
- 11 すぐに乗れます 免許も要らぬ だから危ない 口車
- 12 十重に二十重に 花見る人の 笑顔も咲いて 八重桜
- 13 お題「雨」

傘という字は 雨水受けて 分かれ流れて 落ちるさま

「傘」の字には人が4人も入っているように見えるから、なぜなんだろうと思っていた。いかにも窮屈だし二人で相合傘のほうがいいのに

と。そしたら、あれは雨が傘にあたって流れ落ちる水滴の様子なんだ
そうで。(;^_ ^A

誰を待つやら あの風車 こぬか雨にも くるくると



政界は 食べぬ鳥合の タケノコばかり やたら増えるよ 春時雨
雨は止んでも 噂は止まず 心さみだれ ぬれそぼる

一度きりでも 四度五度六度 たび重なっても 三度笠

三度笠は、江戸ー京都間を走った飛脚たちが被った笠で、彼らは月に
三度往復したから「三度笠」の名が定着したそうです。(^O^)

驟雨きて 祈りの旅の お地蔵さんも 道にたたずむ 三度笠

急な雨に降られたとき、道沿いに三度笠をかぶったお地蔵さんが途方
に暮れた顔でたたずんでいる、のを目にした折の記憶です。

- 14 人生は 見えぬ未来に ボートを漕ぐよに いつも背（せな）から 入り
ゆく

見えているのは、過去の航跡だけ。

- 15 酒に弱いと 泣くことないよ 池の蛙は ゲコ（下戸）ばかり

酒飲みを「上戸」、飲めない人を「下戸」と呼ぶのは、万里の長城の
門番に由来するらしい。頂上近くの「上戸」の番兵には寒さしのぎの
酒を、酒を好まぬ「下戸」の番兵には甘いものを差し入れしたからと
いう。

- 16 想い聴かせる 三筋の糸は つなぐ縁の 赤い糸

いくど切れよと 三筋の糸が 切れぬ縁の 見えぬ糸 *三筋=三味線

- 17 お題「金」

切れぬ縁の 糸なぜ切れた みればピン札 手が切れる

うたを忘れた カナリアあわれ ぶたれ棄てられ 埋められる

西條八十作詞「唄を忘れた金糸雀（カナリア）」は、小学校唱歌だけ
れど、あらためて歌詞を聞いてみると、唄を忘れたカナリアへの仕打
ちの提案が、①後ろの山に棄てましょか。②背戸の小藪に埋（い）け
ましょか。③柳の鞭でぶちましょか。

——っていうわけだから、かなり、怖い～。(;^_ ^A (写真/阿部博)